

# ベトナムの産業に新しい花を咲かせる 高品質花卉の産地育成事業

ベトナム

「育苗及び生産の近代化による高品質花卉の産地育成案件化調査」2016年8月～2017年8月  
「育苗及び生産の近代化による高品質花卉の産地育成普及・実証事業」2018年3月～2021年12月  
兵庫県 株式会社姫路生花卸売市場

花卉<sup>(注1)</sup>販売、生産振興はもとより、花育授業<sup>(注2)</sup>といった教育活動など幅広い活動を展開する株式会社姫路生花卸売市場は、花文化が深く根付いているベトナムにもその輪を広げ、同国の産業振興に貢献しています。その最前線で奔走する同社の柴山栄一代表取締役話を聞きました。

## 花卉の輸出に活路を見出そうとしている ラムドン省

ベトナムの中部高原地域に位置するラムドン省では、年間を通じて15～20度の冷涼な気温が保たれていることを活かして、キクやバラ、カーネーションなどの花卉の生産が盛んに行われています。しかし近年は国内市場が飽和状態になっていることから、輸出に活路を見出そうとしていますが、栽培方法の未熟さによる品質の低さや、不十分な病虫害コントロールが障壁となっていました。

当社は、ASEAN地域でのビジネスの可能性を探るため、2014年に姫路市内の企業と共にタイやラオスなどを訪問。その際にベトナムに高品質花卉栽培のための支援ニーズがあること、中小企業も参画できるJICAの民間連携事業があることを知り、当社の花卉育成技術をベトナムで役立てたいと考えました。

## 「明日がある」という、 大らかなベトナム人の国民性

普及・実証事業では、3つのテーマを掲げました。「育苗技術」と「花卉生産技術」、そして水や農業を噴霧する「自動噴霧装置」の技術指導です。育苗技術は、ウイルスフリー株をつくるため、花の先端にある生長点を取り出し、無菌室で培養する技術です。花卉生産技術は、基本的な農業技術に加え、生産計画や農薬・肥料スケジュールの立案方法、ハウス構築ノウハウ、灌漑設備の技法などです。

こうした高品質花卉栽培に必要な技術指導は大いに歓迎されると思っていました。ところが、すぐに壁にぶつかってしまいました。現地の花卉農家の人々の中には、すぐに成果が見えないものにはあまり乗り気にならないという人もいて、事業がなかなか前に進まないのです。

確かに栽培技術はどれも地道な作業であり、すぐに結果が見えるものではありません。そこで、まずは高品質の花を育てるプロセスを理解してもらうことに努めました。プロセスごとに原因と結果を明確にするとともに、「こうすれば、これだけ利益が上がる」と具体的な数字を示すことにしたのです。

## 植物園のデザインや農業観光資源の コンサルティングにも発展

地道に指導を重ねていった結果、1年半～2年ほどした頃からようやく手応えを感じるようになりました。国内市場の飽和状態に危機意識を持つ人々から「どうしたら儲かるのか」といった声が上がりはじめたのです。また、「うちの畑に来て指導してほしい」という要望も出てきて、少しずつ風向きが変わってきました。そんな矢先、新型コロナウイルス感染症の蔓延で活動の中断を余儀なくされてしまいました。

しかし、それまでの活動で当社の知名度がだいぶ上がり、ホーチミンやハノイで花卉の販売もできるようになりました。また、ベトナム最大の不動産会社グループから「一大リゾートの中の植物園デザインをお願いしたい」という話をいただいたり、ラムドン省ダラット市から、イチゴ狩りや花摘み、花の公園などの農業関連施設を観光資源にする計画のコンサルティング業務の委託を受けることになりました。現地での実証を通じて新たなビジネス展開につなげられた点が、民間連携事業の大きな強みだと感じています。

コロナ禍が収まればすぐにベトナムを再訪し、人と花の輪を広げながら、地域経済の振興と花文化の育成に貢献していきたいと考えています。  
(取材時期：2022年6月)



姫路生花卸売市場  
代表取締役  
柴山 栄一氏

ベトナム社会主義共和国  
(Socialist Republic of Viet Nam)  
首都：ハノイ  
人口：約9,762万人  
(2020年 越統計総局)  
面積：32万9,241km<sup>2</sup>  
(日本の約8割)  
気候：温帯夏雨気候(首都近辺)  
(年間平均気温：約24℃)

VIET NAM



## Episode

### 世界でも花料理の多い国

花が人々の暮らしに深く根付いているベトナムでは、料理にも多くの花が使われています。その数はカボチャの花や花ニラ、スイレンの花、バナナの花など40種類以上。花を使った料理も270種類以上あり、世界記録機関「WorldKings」から「世界一多種類の花料理がある国」に認定されています。

(注1) 花卉(かき)  
観賞用に栽培する植物。

(注2) 花育授業  
姫路市や同市教育委員会と姫路生花卸売市場が連携し、市内の小学校で行っている授業。生け花や花壇づくり、フラワーアレンジメントなどを通して、子どもたちに花の強さや美しさ、命の繊細さなどを知ってもらうことを目的としています。



会社名：株式会社姫路生花卸売市場  
本社：兵庫県姫路市  
設立：1972年(昭和47)年  
代表者：代表取締役 柴山 栄一



従業員：163名(2022年7月現在)  
事業内容：切花、鉢花、関連資材販売、社会貢献事業(学校教育への参画⇒花育授業) 街づくり緑化支援、サポート事業、販売支援・新規就農者支援、経営コンサルティング、小売店

<https://www.himehana.jp/>

## ODA 事業の情報

本記事の事業は、日本政府(外務省)と国際協力機構(JICA)が連携して進める「中小企業・SDGsビジネス支援事業」として採択されたものです。詳しくはJICA「民間連携事業」ページでご確認ください。  
[https://www.jica.go.jp/priv\\_partner/index.html](https://www.jica.go.jp/priv_partner/index.html)



出荷花卉に付いた病虫害の跡。病気に強い優良な苗が現地生産できていないこと、品種開発や改良が進んでいないことが最大の課題だった。



事業ではトレーニングセンターでの技術指導に加え、各個別農家のフォローや農場への出張指導も行った。



花卉農家に対する生長点培養技術の指導風景。



普及・実証事業で栽培した菊。品評会では、全ての葉を取り去る、斬新な形態で展示された。(下は栽培時の様子)

